

トプコン

「覗かない」「高さも測れる」測量2機器

現場にC・I・M浸透



トプコンは9日、土木現場の3次元データ活用を促進するための測量機器2機種を発表した。同社は両製品について「覗かないTS（トータルステーション）」「レーザーとGNSS（衛星測位システム）を融合した高さも測れるレベル」などと呼び、これま

での常識にとらわれない新商品だとしている。

同社が発表した「覗かないTS」は写真1は、LN-100という製品で、スマートフォン（高機能携帯電話）と連動する杭打ちナビゲーターだ。現場で三脚にセットすると、ボタン1つで自動整準し、杭打ちや釘打ちする作業者が持つプリズムを自動追尾する。作業者は手元のスマートフォンを見ながら、1人で杭打ち作業ができる。自動追尾型のTSでは、設置に5分程度かかり、専用の標尺プリズムを持ちながら測量するが、この製品では据え付けやステーションを意識せずに作業が完了できる。

「レーザーとGNSSを融合した高さも測れるレベル」は、Z-Plusという製品で、通常のレーザーレベルが1平面だけしか水準を示せないのに対し、高さ10m、半径300mの範囲で、高さが分かるようにした。

本体と標尺の両方にGNSS受信機を内蔵し、本体が衛

星の補正情報などを基に位置を固定し、その後はレーザーによる相対位置を計測して、現場内の位置情報を正確に測れる。TSに比べて、標尺側が複数でも良いため、本体1台でたくさんの標尺を使うことが出来ることもメリットだ。

現在、国土技術政策総合研究所で試行案が作成されてい

る「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（試行案）」に基づいた出来形管理も、「これ1台で完結する」（同社）という。同社では、「これらの製品が現場へのC・I・M（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）導入の弊害を取り除くツールになる」と話している。

建設通信新聞

【建設ICT】

- | | | | |
|---------|--------|--------|-----|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 | 日 業 |
| 4. 読売 | 5. 朝日 | 6. 中伊 | 日 勢 |
| 7. 産経 | 8. 朝日 | 9. 伊勢 | 日 刊 |
| 10. 中部経 | 11. 建通 | 12. 日刊 | 工 業 |
| ③建設通信 | 14. 信濃 | 15. 日本 | 海 事 |
| 16. 建設工 | | | |

平成25年12月11日(朝)・夕) P3-2